

シリーズ：『挑戦』を支えるもの

～「健康経営」企業の成長は社員の健康から～

■健康経営とは

新年を迎え、新たな計画や目標に向かって気を引き締められている方も多いのではないのでしょうか。どんな目標に「挑戦」するにもまずは一年間健康で過ごすことがとても重要です。

近年、会社が社員の健康をサポートする「健康経営」が話題となっているのをご存知でしょうか。健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取組みが将来的に会社の成長に繋がる投資であると考え、健康管理を経営的視点から戦略的に実践することを言います。経営者が従業員の健康増進に取組むことで、生産性向上や組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上・企業としての価値向上に繋がるという考え方です。健康経営に積極的に取組む法人を経済産業省が認定する「健康経営優良法人認定制度」も数年前から始まっており、中小企業も含め多くの法人が認定を受けています。

■健康経営を行うメリット

「健康経営が従業員の生産性向上、企業の業績向上につながる」とは具体的にはどういうことでしょうか。健康経営に前向きに取組む経営者の方からは次のような声を頂いています。

①「社員のロイヤリティが生まれる」
会社が自分や家族の健康を後押ししてくれることは「この会社で永く働きたい」「会社の期待に応えたい」というモチベーションに繋がります。また、営業目標や仕事の進め方など業務上の話題だけではなく、普段から「健康」について話す機会を持つことで経営層と従業員の自然な交流も生まれます。

②「社員が長く働き続けることができる」
健康的に働くことができる職場は、社員が創造的に業務に励み業績を伸ばすことを可能にし、結果として離職率を低下させる傾向にあります。そうした企業は優良法人として就職市場でも人気が高く、優秀な人材獲得に繋がります。また、社員に長く働き続けてもらえるからこそ一人一人の専門分野を伸ばす指導が可能になります。人材育成の観点からも健康経営は重要な取組みと言えるのです。

③「顧客や取引先との優良な関係性が生まれる」
健康経営への取組みを対外的にPRすることは、社会的な評価に結びつきます。心身ともに健康な社員がいきいきと働く会社は、お客様や取引先からみても安心感があると評価を受けることができる

でしょう。さらに、長く存続する会社として取引先や金融機関からの信頼にも繋がると考えられます。

■健康経営の具体的な取組み

「健康に関する取組みの社内外への発信」「健康増進・過重労働防止に向けた具体的目標(計画)の設定」等を体系立てて実施することが健康経営です。

このような体系作りのためにはまずは「健康経営優良法人」の認定基準等を参考にしながら、自社の取組みを見直してみたいかがでしょうか。例えば「健康宣言の社内外への発信(経営理念)」「健康づくり担当者を設置する(組織体制整備)」等が認定のための必須項目になっています。基準を参考にしながら自社の事情に合わせ「新たな取組みの導入」「既に進めている取組みの周知」等に一つずつ取組んでいくことが大切です。

東京海上日動では、健康経営の取組みの検討、健康経営優良法人認定制度に向けた計画等のご支援をさせていただきます。ぜひ当社営業社員にお声掛けください。

(東京海上日動火災保険株式会社 旅行業営業部)

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company



東京海上日動

